

令和7年度大垣市市民活動助成事業 総合評価審議結果表

1 初めの一步助成（助成率：10/10、助成金の上限：100,000円）

No.	団体（協働担当課）	代表者	事業名	事業内容	申請額	審査点数 (平均点)	審議会からの意見
1	お米の楽校 (農林課)	野田真由美	お米の楽校 米作り、野菜 づくりを楽し もう！	親子で食べ物を育てることで親 子のコミュニケーションが深ま り、植物の「命」の大切さを学び、 農作業の楽しさや意義を感じ関 心を持つことで食育につなげる よう、親子で一緒に米とサツマイ モの苗の植え付けから収穫まで の農作を行う農業体験を実施す る。	100,000	156/180 (4.33)	【採択】 ・昔ながらの農業体験ができ親子でよい機 会となるため、今後は、より広い田んぼ で多くの方が参加できるよう、仲間づく り（運営・田の維持等）にも力を入れて いただきたい。 ・熱中症の対策、手袋の着用、道具の使い 方指導等の安全対策を徹底していただき たい。
2	アート-ポイエーシ ス Online 劇 団 multitude -0- (文化振興課)	西田 充晴	はじめての声 優体験ワーク ショップ	こどもの創造性を刺激し、仲間や 絆づくりを経験し、社会性を磨く 情操教育を進めるため、演劇的な 手法を活用して、プロの声優によ る声優体験ワークショップを開 催し、短い物語作品を制作する。 また、関連企画として大人の声優 体験や高校生以上を対象とした シナリオ創作入門講座を実施す る。	100,000	147/180 (4.08)	【採択】 ・子どもたちや保護者が興味を持つきっか けになり、文化芸術活動に親しむ良い機 会となります。 ・将来につなげることができるよう、声優 やシナリオライターとして活動する方法 や機会などの関連する情報も伝えていた だきたい。

No.	団体（協働担当課）	代表者	事業名	事業内容	申請額	審査点数 (平均点)	審議会からの意見
3	一石何鳥？ゆるゆる健幸サークル (高齢福祉課)	加藤 俊道	今からでも遅くない！！ 皆で声出し、ゆるゆる脳と身体の健幸アップ！！	フレイル、ロコモティブシンドロームや認知症の予防及び身体の現状維持を保つことを目的とし、歌いながら手指や足、身体を動かすことで脳に刺激を与える健康音楽レクリエーションを実施し、コミュニケーションの場として楽しみ、笑いでリラックス効果が生み出され、支え合う環境を生むことにつなげる。	100,000	138/180 (3.83)	【採択】 ・楽しみながら健康増進を図る事業であり、フレイル等について学ぶ機会となる。 ・募集の際は、どのような内容なのか、どのような楽しさがあるのかを十分に伝わるよう工夫していただきたい。 ・用紙代や印刷代は削減に努めていただきたい。
4	こどもアート遊び教室ビーバースタジオ (子育て支援課)	立崎 博則	こどもアート遊び作品展 「みて！みて！展」	地域住民は子どもたちの創造力にふれ、自由な表現を支える環境をつくり、子どもは表現することの喜びを感じ、自分の表現に自信を持つ機会の提供を目的に、画材や毛糸などの身近な素材を使った造形ワークショップを開催し、制作した作品を展示する。	100,000	126/150 (4.20)	【採択】 ・来場者からの意見を十分にもらい、作り手の子どもにしっかり伝えられるよう工夫していただきたい。
5	Birth For the Future@ぎふ (保健センター)	山本ちかこ	いのちにやさしい大垣市に～みんなのはじまりお産展～	お産はいのちのはじまりであり、尊さを感じ、妊娠出産を身近に感じて、様々な選択肢があること認識し、自身の健康増進、自信や誇りを持つきっかけをつくるため、お産の写真を展示し、妊娠出産に関する意見交換会を開催する。	100,000	152/150 (4.22)	【採択】 ・出産や死産などのケアに関する情報も提供できるとよい。 ・「しあわせお産会議」や「お産を語ろうかい」の内容をわかりやすく伝えて参加者の募集を行っていただきたい。

No.	団体（協働担当課）	代表者	事業名	事業内容	申請額	審査点数 (平均点)	審議会からの意見
6	繋がる！元気のわ (子育て支援課)	吉川 友香	遊び×学び 親子と地域で 元気になれる イベント事業	子どもを育てる親同士や地域の 繋がりです子どもの成長をサポートし、みんなが楽しく、実践的な 学びの経験を得る場を創出する ことを目的に、世代を超えた運動 会、親子で姿勢教室やお金の勉強 会等を開催する。	100,000	131/180 (3.64)	【採択】 ・親子で体験したり、子育ての不安や楽し さ等を共有したりできる事業で、子育て 支援につながります。 ・イベントが多いため、スタッフの人数や 事業内容を見直し、安全面に配慮しなが ら、無理のない範囲で取り組んでいただ きたい。
7	マーブルクレヨン 実行委員会 (環境衛生課)	金森 律子	マーブルクレ ヨンワークシ ョップイベン ト	地域・社会・学校などにおいて SDGsを身近な問題と捉え、自分で 考え行動する社会づくりを目的 に、不使用のクレヨンを溶かして 固めることで様々な色のマーブ ルクレヨンをつくるワークショ ップを開催する。	100,000	146/180 (4.06)	【採択】 ・既に一定の実績がある活動である。新た な取り組みを検討しながら、自立に向け て活動していただきたい。

【審議会からの総評】

- ・活動の場の安全を確保し、事業の実施やスケジュール、規模等について十分にご検討いただき、参加者にとって魅力ある活動を行ってください。
- ・継続して活動できるよう、今後を見据えた活動を行ってください。